LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーシ

3階まで お散歩して 投票してね!



2階でブロンズの猫が ごあいさつ 題不明(右前足上げる)】



AKN24総選挙 ◆ 3階ブルーゾーン

彫刻家、朝倉文夫の猫作品24 点の人気投票を行っていま す。ブルーゾーンの中に隠れて いる猫たち(写真パネル)を探 して、お気に入りの3点まで投 票して下さいね。





ブルーゾーン入口に猫作品24点(写真)と、投票箱をご用意

1階特別展「アートになった猫たち展」関連展示



2階パープルゾーン三角台

図書フロアに散らばっていた 猫本を集めました

月の展示情報※展示情報は変更する場合がございます。



「改」(∼9/13) NEW!

新元号「令和」を迎えてはや一か月。江戸から東京へと大転換し た明治維新、関東大震災から復興するための新たな都市計画、 1964年東京オリンピックを含む高度経済成長、そして再び迎え るオリンピックイヤーに向け、東京がどのように変化しつつある のかを軸に、政治経済や文化についても「改」をキーワードに資 料を集めました。



「豊かな暮らし」(~6/14)

「豊かな暮らし」とはなんでしょう?衣食住、健康、仕事、お金、人 間関係など人の数だけそのものさしがあります。あなたにとって の「満ち足りた暮らし」を探す展示です。

展示 PICK UP •••••••••••••

■3Fブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたフロア

過去と未来、朝と夜、生と死など、世の中に は対になる物事や現象が多数存在します。 今回の展示ではそのような対になる言葉 を11テーマに分けて比べました。一方を見 る、その反対側にあるもう一方を見る、そ して全体を見ることで視界や思考がフラッ トになり、常識や思い込みに捉われない 「新たな視点」が見つかるかもしれません。





見比べる、読み比べる、 固定観念を外してみる。



有田珠玉の器紀行』 ARITA SELECTION プロジェクト 編



ドレスデン絵付け工房 技と心』

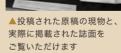
山田美恵子 編著 CCCメディアハウス 2016年 文化出版局 2008年(絶版)

■3Fエレベーターホール [ガラスケース]

BLK谷カレッジ「戦争と暮しの手帖~ 『戦中・戦後の暮しの記録』を編んで~」

5月31日(金)開催の日比谷カレッジ「市井の記憶を記録する~『戦中・戦後の 暮しの記録』を編んで〜」に関連して、暮しの手帖社が「庶民の戦争の記憶」を 残すため、読者から原稿を募集して刊行した『戦争中の暮しの記録』、『戦中・戦 後の暮しの記録 君と、これから生まれてくる君へ』の投稿原稿やパネルの他、 時代を映し出す『暮しの手帖』バックナンバーを展示しています。







▲読者の生活に寄り 添った特集記事や、 『暮しの手帖』創刊者の 花森安治氏が装丁を



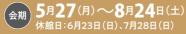
From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのおしらせ】



どもの本っておもしろい!! 役に立つ!!

"こども用新書"は、おとなの学び直しに最適なツール。著名 人もお薦めする"こども用新書"を紹介するとともに、読み比 べられるように、おとな用の関連書籍も展示。







り 月号 June 2019

ロンドンのコヴェン ト・ガーデン地区に所 在する歌劇場。ロイヤ ル・オペラ・ハウス。左 隣のガラスの建物は

Queen's London』1897年よ

17世紀から18世紀頃の

ンバンザ・コンゴ(コンゴ

王国の首都)。コンゴ王国 は中部アフリカ大西洋岸

にあった王国(現在はア

ンゴラ共和国)。2017年

にアンゴラでは初の世界

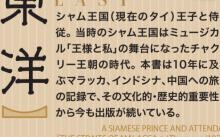
遺産に登録された。

内田嘉吉が愛読した米国雑誌

¬The American Monthly Review of Reviews」と
¬The National Geographic Magazine」∼ 催中~6月30日(日)

国際派官僚・内田嘉吉は日本が諸外国から どのように見られていたかに関心を持っていたことにちなみ、 日本関連記事を中心に紹介しています。

『高祖御一代略図 日蓮上人波顕目』歌川国芳「The American Monthly Review of Reviews | 1914年3月号より



開館時間:平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日 2019年6月 2019年7月 2 3 4 5 6 11 | 12 | 5 6 8 9 10 3 4 | 15 10 12 13 14 15 18 19 20 16 17 17 | 22 | 23 | 24 | 18 l 19 20 21 25 26 27 24 25 | 26 29 30 | 31

■ お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4



「都堂地下鉄 ●三田線「内幸町駅 A7出口 徒歩3分 〔東京メトロ〕

丸ノ内線 ●日比谷線 「霞ヶ関駅 IB2出口徒歩3分

「霞ヶ関駅 IC4出口徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場は ございません。公共交通機 関をご利用下さい。

TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

参加申込 〉電話 (03-3502-3340) またはホームページにて、講座名、お名前 (よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承りま す。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合は ご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当 日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。 「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、 さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。



朝倉文夫の猫たちと朝倉彫塑館

~朝倉文夫の猫AKN総選挙@日比谷、中間発表もあるにゃん~ 講師: 戸張 泰子(台東区立朝倉彫塑館 主任研究員)

大の猫好きで彫刻家として初の 文化勲章を受けた朝倉文夫は、 数多くの生き生きとした猫の像を 制作し、今も人々を魅了していま す。その朝倉の猫の作品と、谷中 のアトリエ兼、住居で教育の場と なった朝倉彫塑館(国指定名勝) の魅力をご紹介します。 (協力:台東区立朝倉彫塑館)

- ■日時:6月7日(金)19:00~21:00 (18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンション ホール(大ホール) ■定員:200名
- ■参加費:1000円



活字のかたち鑑賞会 その2 秀英体の生命力

講師:伊藤 正樹・宮田 愛子(大日本印刷株式会社 秀英体開発グループ)

明朝活字の代表的な書体、秀英 体。100年以上の歴史を持つこの 書体は「広辞苑」や新潮文庫など、 現在も多くの書籍に使われている ため、本好きの方ならどこかで一 度は目にしたことがあるかもしれ ません。書体がどのように作られ るか、印刷と活字の歴史、利用事





左: 手書き原図(1972年) 右:デジタル化(2009年)

例なども交えて、これまでとこれからの「秀英体」をお話しいただきます。

- 日時:6月13日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- ■定員:200名 ■参加費:1000円

三国志 それぞれの国のかたち(全3回) 第3回「伝統を守りつづける 蜀」

講師:渡邉 義浩(早稲田大学文学学術院教授)

「漢」という、後の国家が規範とする「古典 中国」が崩壊したのち、中国は魏・蜀・呉の 三国が並び立ちます。同じ時代に建国さ れながら、三国のかたちはそれぞれに異 なるものでした。混迷のなか、三国志の英 雄たちが模索した国のかたちを比べてみ

- 日時:6月18日(火)19:00~20:30 (18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)
- ■定員:200名 ■参加費:1000円



上廣・日比谷ライブラリーレクチャー「私の修業時代」 25 俳優の道 ~真剣勝負で挑んだ日々、そして今 (火) 講師:滝田 栄(俳優)

> 1983年NHK大河ドラマ「徳川家康」(山岡 荘八原作)で主演・家康を演じて人気を博 し、舞台「レ・ミゼラブル」では14年間主演 ジャン・バルジャンを務めた俳優 滝田栄 氏。俳優業にとどまらず、幅広く仏像制作に も打ち込む滝田氏にとっての修業、修業時 代とはどのようなものだったかを伺います。 (主催:公益財団法人上廣倫理財団、共催: 日比谷図書文化館)



- 日時:6月25日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール

(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民・学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

恐いぞ! 怒る鬼平、叱る鬼平

一「鬼平お名前帖」を作った編集者が語る池波正太郎一 講師: 名女川 勝彦(元株式会社文藝春秋取締役)

池波正太郎の代表時代小説『鬼平犯科帳』 (文藝春秋)は登場人物の多さから、死んだ はずの盗賊などが「再登場」する問題が発生 しました。そこで池波のために作ったのが手 製「お名前帖」です。池波の生前をふり返り ながらその肉声の一端をご紹介し、参考ま でに「お名前帖」の一部(複写)をお持ち帰り いただきます。



■ 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)



世界の音楽2019

口琴の響き、その秘密

~たったひとつの音源から、様々な音色を引き出すには~ 講師:直川 礼緒(日本口琴協会代表)

ユーラシア大陸で生まれ、世界中で 演奏されている楽器、口琴。たったひ とつしか音源を持たない、一見「未発 達」なこの楽器から、さまざまな音色 や音程を引き出すために、重要な役 割を果たす「共鳴器としての人間の口 腔 | と「倍音 | とに焦点をあて、音響的 な観点から口琴について考えます。



- ■日時:7月3日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円

千代田区民講座

世界から日本を、宇宙から地球を見る眼、 「グローバル・アイ を語る

講師:渥美 育子(一般社団法人 グローバル教育研究所 理事長)

ビジネスの基盤や人間性など万物を見 通す知性「グローバル・アイ」。その本質 とともに、企業や若者への普及や教育 活動をわかりやすく語ります。 (主催:NPO法人神田雑学大学、共催: 日比谷図書文化館)

- ■日時:7月5日(金)19:00~20:30 (18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- ■定員:60名 ■参加費:無料

※5月22日(水)から千代田区民受付開始。区民以外は5月29日(水)から受付開始



平野啓一郎が語る、平野啓一郎 一20年の作家生活とその作品群

講師:平野 啓一郎(小説家)

2018年に作家生活20周年を迎えた平野啓一 郎氏。14歳で三島由紀夫の『金閣寺』に衝撃 を受け、文学の読者となった平野氏は、21歳 でデビュー作となる『日蝕』を書き、現在に至 るまで様々な小説、論評を発表しています。そ の数々の作品群と20年の作家生活を、平野 氏本人が読み解きます。

- 日時:7月10日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール





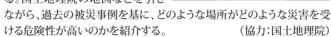
撮影/灌太幹也

白然提防

地図から読み解く自然災害のリスク -自然災害は、土地の成り立ちと利用方法とのミスマッチング-

講師:乙井 康成(国土交通省 国土地理院 関東地方測量部長)

平地の地形の多くは河川活動によ り作られている。例えば、かつて川 の流れていた場所は周辺より低く、 大雨の時は水が集まることが予想 でき、土地の特性と利用方法が合 わないと災害が起きるリスクが高ま る。国土地理院の地図などを引き



- ■日時:7月11日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 〒 | 定員:200名 | 参加費:500円



これだけは知っておきたい中国経済2019(全2回)

講師:丸川知雄(東京大学社会科学研究所教授)

第1回

「中国の経済成長と世界経済のゆくえ」 2018年に勃発した米中貿易戦争は日本をはじめ 世界にさまざまな影響を及ぼしている。これから 中国経済がさらに拡大するとしたら世界はどうな るのだろうか。日本は米中の狭間をどう泳いで いったらいいのかを考える。



「中国のハイテク産業の現状と展望」

米中貿易戦争の本質はハイテク覇権をめぐる争いだという解釈がある。 中国のハイテク産業に対する野望を解明し、その発展の可能性と問題 点、日本など他国に対するインパクトについて論じる。

- 日時:第1回 7月16日(火)19:00~20:30(18:30開場) 第2回8月1日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- ■定員:各回60名 ■参加費:各回1000円

第14回 ジャパンナレッジ講演会 辞書編集者の平成ことば考 ~辞書編集者を悩ませる、日本語⑦

「"ヤバい"の変遷」、「小泉劇場、忖度……政治家の 言葉はどう変化した?」「平成の国語辞典七変化」 ――昭和55年の出版社入社以来、辞書編集ひとす じの人生を送っている神永さん。昭和後半から平 成まで出会った印象的な日本語を取り上げます。 (主催:ネットアドバンス、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:7月24日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)

絵本を手にした子どもたちの今 ~絵本を届けてきた20年~

講師:鈴木 晶子(公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 広報リレーションズ課課長)

アジアの子どもたちに絵本を 届けるというボランティア活 動をご存知でしょうか。子ど もたちは、絵本を読むことで はじめて世界を知り、文化を 知り、歴史を学びます。その 子どもたちが、どのような人 生を歩き始めたのか。20年 間の活動を通して見えてきた 絵本の力をお話しいただき



ます。講演会の後半では、シールを貼って翻訳絵本をつくるワーク ショップを行います。

- 目時:7月27日(土)14:00~16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- ■定員:40名 ■参加費:1500円(材料費込)
- ※完成した絵本はアジアの子どもたちに贈るため、持ち帰りできません。

◆古文書塾てらこや体験講座◆

「古文書塾でらこや」は古文書専門塾として、初心 者から経験者まで楽しみながら学習を進めてい ます。7月期の開講に合わせ、この度古文書の世 界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意 いたしました。まずは体験講座をお試しください。



			- 10
	講座名	曜日•時間	体験講座 実施日
特別 講座 90分	浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水)10:20~	6/19
	開国ニッポンの外国人―教室で語る"ドキュメンタリー番組"	(水)13:30~	6/26
	商家文書を読みとく一三井の子弟教育	(水)19:00~	6/26
	江戸を楽しむ 一江戸の寺社あれこれ	(木)18:30~	6/27
	江戸・明治の書状を読む 一形式と内容、一歩から	(金)18:30~	6/28
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30~	6/22

- ■参加費:各講座1000円
- 定員:各講座23名(事前申込順)
- 会場: 4階 セミナールーム(会議室)
- 資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや担当迄

体験講座 1000円

別アートになった 6月23日(日)まで! 猫たち展~今も昔もねこが好き~

昔から人々の暮らしに関わり愛されてきた猫。 その姿は浮世絵にも多く描かれ、様々な愛ら しい表情に癒されます。そんな猫づくしな特 別展も6月23日(日)まで!猫派はもちろん犬 派の方も、浮世絵好きの方も、ちょっと癒され たい方も…是非お越しください。5月21日(火) からは一部展示替えも行っています。また、公



式twitterアートになった猫たち展 in 日比谷(@artnanekohibiya)も開設 中! 会場を出ると猫の被り物をかぶってポスターの一部になれる撮影コーナ もあるので #アートな猫日比谷 をつけて、SNSへ投稿して ニャ ^冊・冊

【お詫びと訂正】ポモーヌ5月号にてお知らせいたしました「特別展 アートになった猫 たち展公式twitter」のアカウント名につきまして、下記のとおり訂正させていただき ます。心よりお詫び申し上げます。

誤】@artnaneko_hibiya → 正】@artnanekohibiya



講師:神永 曉(国語辞典編集者)

- ■定員:60名 ■参加費:1000円